

# 産業・技術委員会、資源環境委員会 「ロボット・水素エネルギー関連分野視察会」を開催



平成27年11月25日(水)～26日(木)の2日間、産業・技術委員会ならびに資源環境委員会より延べ34名参加のもと、北九州市においてロボット・水素エネルギー関連分野の企業、行政等の取り組みについて視察を行った。

【1日目】 北九州産業学術推進機構 (FAIS)  
株式会社石川鉄工所  
株式会社安川電機

【2日目】 TOTO株式会社  
新日本非破壊検査株式会社  
北九州スマートコミュニティ創造事業

当連合会では、これまで産業・技術委員会において、成長分野における域内資源の確認や会員企業間の交流促進を図ることなどを目的に、「医療・介護」「環境」「航空」等をテーマに視察会を開催してきた。また資源環境委員会においては、エネルギー・環境関連施設を視察し、最新の技術開発動向等についての調査に取り組んできた。

こうした中で、今回は産業・技術委員会と資源環境委員会の共催で、「ロボット・水素エネルギー関連分野」をテーマに、北九州市での企業や行政等の取り組みについて視察会を開催した。

## 1. 北九州産業学術推進機構 (FAIS)

産学連携センターにて、地域産業を支える知的基盤として開設された北九州学術研究都市の概要、その運営の中核機関であるFAISの産学連携の活動状況、北九州市の「ロボット産業振興プラン」の内容や、それに基づく中小企業への具体的な研究開発支援などについて説明を受けた。その後、地元企業へのロボット導入を支援するため設



置された「産業用ロボット導入支援センター」を見学した。

## 2. 株式会社石川鉄工所

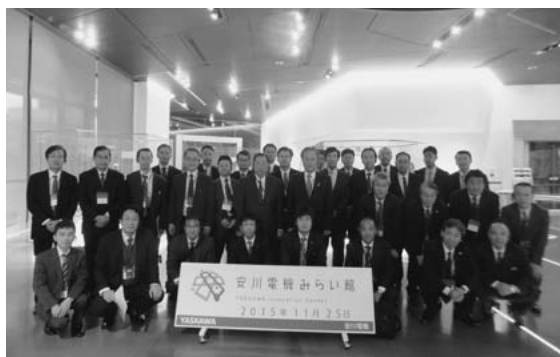
石川社長より、大手からの受注生産から、経営の安定を目指して自社製品開発へと事業展開を図ってきた経緯や、顧客との関係維持・強化を支える「NOと言わない」姿勢など、経営哲学についてお話を伺うとともに、FAISの助成金を活用した管渠検査ロボット「もぐりんこ」や、その後改良を加えた新機種も見ながら、その開発経緯、販路開拓、製品コンセプトなどについて説明を受けた。



## 3. 株式会社安川電機

安川電機の事業概要や、昨年6月にオープンした「ロボット村」のコンセプト・施設などについて説明を受けた後、「ロボットがロボットをつくる工場」として誕生した第1工場、多様なクリーンロボットを生産する第2工場を見学した。さらに、

見学・体験施設である「みらい館」では同社の歴史、最先端のロボット技術、モーション技術を活用したエンターテインメントショーなどを見学した。



#### 4. TOTO株式会社

TOTOの創業から今日に至る歴史や事業概要について説明を受けた後、衛陶工場にて衛生陶器の製造工程(調製、造型、成形、乾燥・生素地点検、施釉、焼成、検査工程)を見学した。昨年8月にオープンしたミュージアムでは、創業期を支えた食器事業、衛生陶器の開発から普及に至る歴史、第6回ロボット大賞の優秀賞を受賞したベッドサイド水洗トイレなどを見学した。



#### 5. 新日本非破壊検査株式会社

北九州イノベーションギャラリーにて、同社の沿革や事業概要、これまで開発・製品化してきた多様な点検ロボットについて説明を受けた。また現在NEDOの支援を受けて、産学官連携のもとで研究開発に取り組んでいる飛行点検ロボットについて、実物を見ながら意見交換等を行った。(当日デモフライトの予定であったが、雨天のため中止となった)



#### 6. 北九州スマートコミュニティ創造事業

北九州市環境ミュージアムにて、北九州市が公害を克服してきた歴史や、北九州スマートコミュニティ創造事業が誕生した背景の説明を受けた。また、九州ヒューマンメディア創造センターにて地域のエネルギーマネージメントを統括する「地域節電所」、HEMSのモデルルームを兼ねる水素ハウスなどを見学した。



#### 参加者からの感想(視察後アンケートより)

- 行政、大企業、中小企業とバランスがとれ、テーマも明確で参考となった。
- 他県・異業種の方々との交流は、様々な情報を得られ、有意義であった。
- 歴史ある大企業の創業理念とそれを守ってきた経営姿勢に感銘を受けた。
- 時代のニーズにマッチした製品を絶えず開発することの重要性と厳しさを再認識した。
- 行政の取り組み、多様な企業の生産工程や開発事例を見学でき、貴重な情報を得た。

(担当: 田中)